

豆州天城山ノ植物

チ伸ビテ幹モ木質デ有ツテ多年間生存シ人身以上ノ高サニ達スルモノモ珍ラシクナイ此品ハ今ハ園内ニ栽ルコトハ稀デ有ルガ平安朝ノ初メノ頃マデハ園内ニ栽エラレタノハ主トシテ此やまはぎデ有ツタデ有ラウカ偶宮城野デはぎガ發見セラレ竟ニ位ヲ之レニ譲リ今日ニ至ツタノデ有ラウ但シやまはぎハ夙ニ伍ニハ落チハシタガ今日デモ偶ニハ栽エ賞セラレテ居ル併シ是レハ只好事家ノミデアアルガ然シ山野一面此處彼處ニ自然ニ咲キ亂レテ居ル有様ハ又ト得ガタキ秋ノ眺メデアアルト謂ハネバナラヌ

○豆州天城山ノ植物

横濱植物會會員 久内清孝

大正六年八月十一日伊豆狩野川上流ノ寒村湯ケ島ニ宿シ其日淨蓮ノ瀧附近ニ遊ブ附近一帶ノ植物景觀ハ大體關東殊ニ箱根附近ト大差ナシト謂フヲ得ベキモ亦關東ニ求メテ得ラレザル植物ノ種類モ少カラズ

三島驛ニテ東海道幹線鐵道ヨリ輕便鐵道車中ノ人トナリテ大仁ニ向フ途中諸處ニくさぎノ開花セルヲ認ム其花遙ニ之ヲ望メバ滿朶ノ花簇普通ノモノヨリモ青ク一見くさぎニアラザルカヲ疑ハシム中狩野村附近ニアリテハ普通種ト本品トノ存在ヲ別々ニ認メタリ湯ケ島ニアリテモ諸處ニ此綠色ノモノヲ見ル依テ之ヲ掌上ニ檢スルニ本品ノ萼片ハ普通種ニ比シテ綠色ノ部分多シ余ハ此行湯ケ島ノ下田街道ヨリ吳服店ノ前ヲ右ニ折レ湯本館ニ下ル向陽ノ地ニアリシ二本ノ個體ト更ニ六七町上方ニアル一樹ノ一部トヲ標本トシテ採集シ更ニ中狩野村ニテ普通種ヲモ採集シ兩者ヲ比較セシニ萼ノ綠色勝チナルト毛茸ノ多キトニヨリテ直チニ兩者ヲ區別スルヲ得タリシモ標本トシテハ之ヲ區別スルコト困難トナリタリ愚考スルニ本品ハくさぎノ一品種トナスベキモノナリ敢テ夏月同方面ノ採集ニ從事スル士ノ研究ヲ望ム

湯ケ島ニハたきみしだ、しゝらん、ていしようさう、再考ヲ期スルかんあふひノ一種ヲ産スル外余ガ今回採集

セルさいちごノ品種 *Rubus palmatus* THUNB. forma *dissecta* KOHNZ. ヲ産ス即チさいちごノ葉ノ極端ニ深裂セルモノナリ湯ヶ島ヨリ淨蓮ノ瀧ニ到ル途中ニハけやまはんのさ、やまもゝ、うんぜんつゝじ、かうぞ、たにうつぎ、うらじろ、いはひめわらび、やのねした、おほさじのを、ちゃせんしだ等ヲ見タリ

伊豆湯ヶ島附近ノ淨蓮ノ瀧



此瀑下ニ採集セラレタルたさみした (*Antrophyum japonicum* MAKINO.) 兒玉親輔氏ニヨリ發表セラレタルみぞし

豆州天城山ノ植物

はひこもちしだ (新稱)

(縮圖)

(清水勝太郎氏攝)



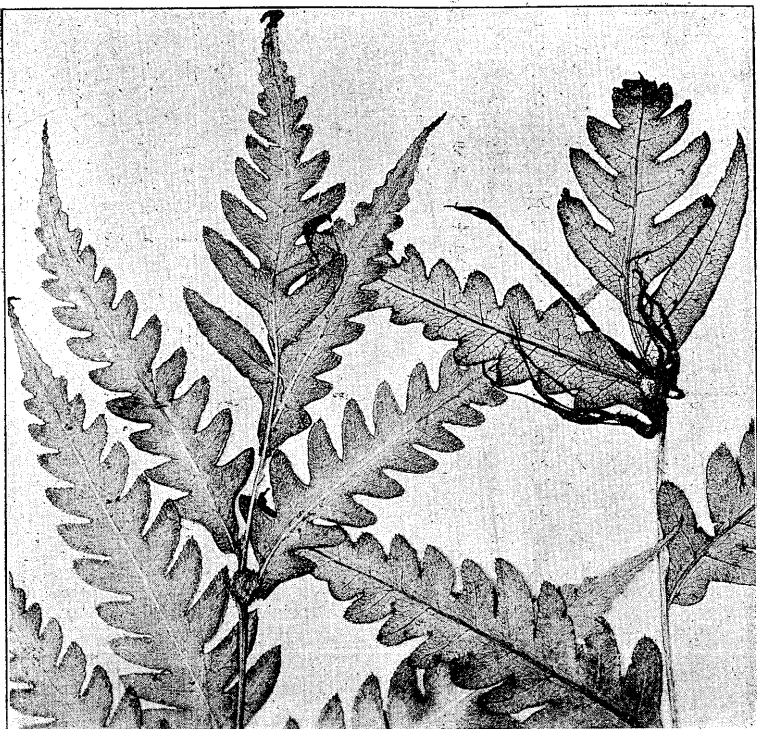
Woodwardia radicans SM. var. unigemmata MAKINO.
(reduced.)

ラシテ最モ興味ヲ感ゼシメタルモノハ瀧附近ノこもちしだ是レナリ!

本品ハ一見こもちしだニ似タレドモ全形並ニ羽片狹長ニシテ羽片ノ中肋ニ接スル處ニ淡褐色ノ鱗片ニ包被セラレタル肉芽狀態ヲ形成シ其數單ダ一個アリテ能ク發芽シ其地上ニ接セルモノハ完全ニ根ヲ下シ普通ノこもちし

だもふ (Dryopteris izuensis KODAM.) ヲ筆頭ニウ
らじろ、ほそばかなわらび、
たにいぬわらび、さじらん、
ひめさじらん、いぶきしだ、
おほばやぶそてつ、めやぶ
そてつ、しろやましだ等ノ
産スルアルノ外尙ばりばり
のき、うんぜんつゝじ等關
東未知若クハ稀有ノ樹木ア
リ、瀧ニ向ヒテ左ニ廻ハレ
バ蘚苔群中ニやのねしだア
リ叢中しろやましだアリ又
みぞしだもどき最モ多シ此
附近一帶ハ瀑沫飛來シテ苔
滑ラカナリ、然シテ此行余

ス有ヲ芽胎ノ一各テシニ部上ノ葉ノだしちもこひは



(影授氏郎太應永清)

(圖縮)

The upper portion of the fronds of *Woodwardia radicans* Sm.
var. *unigemmata* MAKINO with a gemma each. (reduced.)

だトハ一見其性狀ヲ異ニス全「フ
ロンド」ノ裏面ニハ淡褐色ノ細鱗
片ノ散在著生スルヲ見ル之ヲ鏡下
ニ檢スルニ其鱗片細胞ノ形狀普通
品ト異リテ長シ今本品ヲ BEDDOME
氏ノ *Ferns of British India* ヲモリ
テ考ルニ *Woodwardia radicans* ヲ擬
シ得ラル、様ニ思ハル今該書ヲ按
ズルニ “rachis here and there produ-
cing large scaly germinating gemmae
at the base of some of the pinnae”
ノ句最能ク本品ヲ説明スルニ似
タリ然シテ普通ノこもちしだハ山
中他ノ處ニ自生スレドモ淨蓮瀧附
近ニハ遂ニ見ル能ハザリキ而シテ
余ハ本品ニはひこもちしだノ新和
名ヲ下セリ其後牧野氏ハ余ノ採リ
シ標本ニ基キ其學名ヲ *Woodwar-
dia radicans* Sm. var. *unigemmata*

斷枝片葉 (其八)

MARINO. ト定メラル即チ眞正ナル *W. radicans* Sm. 種ハ從來尙未ダ我邦内ニハ得ラレザリシモノニ係ル
翌十二日同行ノ畏友原虎之助、藤井潔ノ兩氏ハ淨蓮ノ瀧ノ上ナル俗稱新田ト稱スル附近ノ山中ニテみどりかな
わらび (*Polystichum nipponicum* ROSENSTOCK.) 並ニ當時盛ンニ開花セルなつえびねヲ採集セリ

此行又つりしゅすらん (*Goodyera pendula* MAXIM.) ノ著生セルせさこくノ株ヲ擔ヘル樵夫ニ會ヒシヲ以テ試ニ
問ヘバ同山ノ産ナリト應ヘタリ由テつりしゅすらんモ亦天城山中ニ産スルコトヲ知り得タリ其當時樵夫ノ擔ヒ
シモノハ今腊葉トナリテ原虎之助氏ノ藏スル所トナレリ、尙天城山ニハ往年藤井潔氏ノ採集ニ係ル苔類ノ一種
Plagiochila amagiensis STEPH. アリ本種ハ從來未ダ曾テ他ニ産スルノ報ニ接セザル一品ニ屬ス

○斷枝片葉 (其八)

牧野富太郎

●さんぎよもノ名ノ間違

今日植物學上一般ニ呼ンデ居るさんぎよもノ名ハ間違デ本當ハぼざさのふさもガ
さんぎよもデアラネバナヲヌンシテ今日言フさんぎよもハ實ハさんぎよもデナクまつもト云フ者デアル

●とちかがみノ意義

とちかがみ科(水鼈科)ノ水草ニとちかがみ(學名ハ *Hydrocharis Morus rance* L. var. *asiatica* MAKINO.) ト云フモノガアルとちトハ泥龜ヲ尾州デとちト云ヒかがみハ其葉面ニ光澤ガアルカラデ即チ
すつぽんノ鏡ノ意デとちかがみト呼ンダモノデアアル又之ヲすつぽんのかかがみト云フ處モアル又此草ニハどうが
めのかかがみ、どうがめばす、すつぽんのかさ、かへるゑんざナド各地ノ方言ガ頗ル多イ

●簾ノ一原料

武州南多摩郡原町田ノ邊デハ土人ガ七月頃其附近ノ原野并ニ丘陵邊ニ野生スル方言はぎナル
めじはぎ (*Lespedeza sericea* MIO.) ノ能ク伸ビタル莖ヲ採リ集メ葉ヲ去テ日乾シ束ネテ售ル其價一束金三十錢許
デアル其能ク枯槁セルモノヲ次年ニ於テ簾ニ製スルノデ之ヲ東京市神田區豊島町邊ノ簾屋ヘ廻送スル